

平成25年度に交付決定した助成事業（第1回申請分）

事業名	区分	助成金の種類	事業の内容等
農業・農村調査研究事業	調査研究・政策提案	農業・農村調査研究事業助成金	愛知県農業の六次産業化の一層の推進に向け、優れた先進事例を集め、これらの成功要因等を分析することにより、県下農業者の六次産業化の取組を支援する事業。 愛知県産農畜産物のブランド化の推進のために、JAグループや行政、大学、民間企業などが共同してブランド化戦略について研究し、今後の活動指針を作成する取組。
		農業理解促進事業助成金	一般消費者から希望者を募り、田植えや稲刈りなどの農作業を体験してもらったり、生き物調査や地産地消・食育などの講義を通じて農業の大切さや愛知県産農産物に対する理解を深めていただくための取組。
農業環境整備事業	情報 (県民への情報提供・消費者理解の促進)	食育推進事業助成金	輸入のトマトピューレに押されつつある加工用トマトについて、その収穫体験やケチャップ作り体験などを通じて一般消費者に国産品の安全・安心をPRするとともに、生産者・消費者の交流を通じて生産者にも国産品生産意欲の向上を目指す取組。 子供や親子など一般消費者に対し、フラワーアレンジメントの制作や花壇苗の寄せ植えなどの体験教室を通じて、花に親しみを持っていただき、消費の拡大を目指す取組。
		安全良質農産物安定供給事業助成金	培地、栽植密度、ハウス内環境など栽培方法の違いによる収量当の比較栽培展示や、新農薬の薬効・薬害確認調査、系統選抜の展示など各種の試験研究事業、およびこれらの研究、調査から得られる成果を生産者等にお知らせするための情報誌の発行事業。 (対象作物：キャベツ・ホウレンソウ・ブロッコリー・トマト・イチゴ・輪ギク・スプレーマム・デルフィニュームほか各種野菜・果実・花き類) マイナー作物（作付が比較的少ない作物、年間生産量3万ト以下）用の適合農薬の登録拡大は、費用対効果の面から農薬メーカーが開発に消極的なため、代わって農業団体が自ら試験栽培等を行って登録農薬の拡大を進め、マイナー作物の産地としての維持発展を図る事業。（対象作物：シソ・食用キク・バジル・エゴマ・ササゲ・フキ・トウガン・ミツバなど） と畜場の衛生度の向上や消費者・精肉業者に対して安全性を担保するために、と畜場内で枝肉の残留抗生物質や細菌（一般生菌・黄色ブドウ球菌・サルモネラ菌・0-157）の検査を定期的実施するとともに、脂肪酸組成分析により従来の規格・格付け以外の評価データの収集を行う取組。 新たな担い手や大型農家の育成を目指して、中山間地におけるホウレンソウを中心とした葉物の周年栽培モデル展示を行う取組。 生産者の高齢化に伴って作付面積が低下している秋冬ねぎについて、共同育苗と定植作業の機械化などによる一貫体系のモデル実証を行い、稲作オペレーターや新規農家の参入促進により生産面積の拡大と産地振興を進める取組。 加工・業務用たまねぎの収穫・出荷作業を合理化し、水稻作・畑作オペレーターの参入により規模拡大を進めるために、コンテナの活用と根葉付き規格の導入による収穫・乾燥・出荷作業の実証試験を行う取組。
農業生産振興事業	生産 (新品種、新技術、生産供給環境技術)	園芸優良種苗供給事業助成金	イチゴ・キク・フキ・ジネンジョの無病・優良種苗の計画的生産と安定供給およびこれら種苗の生産指導にかかわる事業。
		新農業ビジネスモデル推進事業助成金	名古屋コーチンを原材料とした新商品の開発、および食育・交流活動。さらには「名古屋コーチン検定」の実施による話題作りと消費者に対する理解促進のための取組。
	流通 (ビジネスモデルの作成、イベントの実施)		

平成25年度に交付決定した助成事業（第2回申請分）

事業名	区分	助成金の種類	事業の内容等
農業・農村調査研究事業	調査研究・政策提案	農業・農村調査研究事業助成金	農業就業人口や耕地面積の減少傾向が続いている中で、大学・愛知県・農業団体が連携して、これらの将来予測を行うとともに、各種の政策・施策を加えた場合のシミュレーションを行い、より有効な施策について調査研究する取組。
農業環境整備事業	情報 (県民への情報提供・消費者理解の促進)	農業理解促進事業助成金	農業について学習する小学校5年生を対象として、愛知県農業を詳しく解説した副教本「愛知の農業」とこれを指導する教員向けの指導書を作成し、県下全小学校に配付する取組。
	人材育成 (優れた人材の育成)	後継者育成活動助成金	概ね40歳以下の青年農業者が、県外で先進的な取組を行っている生産者や加工業者、流通業者等での視察研修を行うことにより、自らの農業生産に役立てようとする取組。
農業生産振興事業	生産 (新品種、新技術、生産供給環境技術)	安全良質農産物安定供給事業助成金	現在の農業を取り巻く環境や今後の課題、農業経営の在り方などについて学ぶため、農業経営者の団体が外部から講師を招いて開催する講演会の事業。
			愛知県産農畜産物のブランド化のために、個々の作物について多産地との差別化ポイントを再構築し、併せてこれらを総合的に紹介するための総合営業パンフレットを作成し、量販店、業務用業者、加工業者等に配付しながら愛知県産農畜産物の優位性をPRする活動。
			いちじくの出荷量が減少している中で、その要因の一つである調整・出荷作業を外部委託することにより、収穫作業時間を延長してもらい、作付面積の拡大を目指す事業。収穫時間を延長することによる品温上昇に伴う品質低下を防ぐための予冷措置の効果検証や、いちじくの新しい商品規格の開発。
			トマトの黄化葉巻病に耐性のある新品種の、農家での通常的环境下での栽培実証を行い、併せて食味に関する評価も行う取組。
			トマトの花房をできるだけ幹の下の方から着生させることができれば、定植後の早期から収穫が可能となるとともに1本当たりの収量を増加させることができることから、この第1花房を安定的に下方節位に着生させる技術開発のための取組。
			野菜苗の生産にかかるコストを極力削減し、苗価格に反映させるための活動として、トマトの育苗工程のうちの灌水作業をプールベンチを活用することにより省力化するための取組。
流通 (ビジネスモデルの作成、イベントの実施)	生産者の思いを伝える農業推進事業	全国展開されるたまごの消費拡大運動「たまごアゲイン2013」に運動して「愛知のたまご一日2個運動」を展開し、県内各所で開催される農業関連イベントにおいて活用する販促グッズを作成したり、たまごを消費者に無償配布する活動。	
		香港で開催される愛知県主催の「愛知フェアin香港」に出展し、将来的に地元の農産物を中国や東南アジアに輸出することを目指して、現地の消費者や業者にPRする取組。	
		地域のお茶の知名度アップのためのPR活動のために、ボランティアの支援者を募って「お茶応援団」を結成し、生産者とともに活動する事業。	
		西尾市で開催される「あいち花フェスタ2013」に出展し、ディスプレイ展示やフラワーアレンジの体験教室を開催するなど、広く県民にあいちの花をアピールする活動。	
		首都圏のスーパー青果部門で働くパートさん等を対象に、産地としての愛知県のすばらしさや愛知県産特産物（イチジク・フキ・大葉）の商品知識などについて教育研修を行い、日常的な店頭での販売活動のなかで一般消費者にアピールしてもらうための取組。	
		愛知県が展開する「花いっぱい県民運動」の一環として、「今月のあいちの花」を、JAグループの拠点であるJAあいちビルの玄関に展示し、来館者や通行人にアピールする活動。	

平成25年度に交付決定した助成事業（第3回申請分）

事業名	区分	助成金の種類	事業の内容等
農業環境整備事業	情報 (県民への情報提供・消費者理解の促進)	農業理解促進事業助成金	管内の農業生産の状況と農産物直売所を紹介するMAP、食育に関する情報を掲載した情報誌を作成し、直売所や観光会社配布することにより、消費者に管内農業についての理解を深めていただくための取組。 著名漫画家による農業・環境に関する理解促進のための作品と併せて地元の農業情報を掲載した情報誌を作成し、食農教育に関するフォーラムやイベントに参加する子供向けに配布することにより、親子ともども農業理解を深めていただくための取組。
	人材育成 (優れた人材の育成)	後継者育成活動助成金	概ね40歳以下の青年農業者が、県外で先進的な取り組みを行っている生産者や加工業者、流通業者等での視察研修を行うことにより、自らの農業生産に役立てようとする取り組み。 今回は、被災地における「食と農フロンティア推進特区」の制度を活用した最新の栽培システムの視察や、食品工場における品質管理・衛生管理の状況視察など、合計4団体の先進地視察事業への助成金交付を決定した。
農業生産振興事業	生産 (新品種、新技術、生産供給環境技術)	安全良質農産物安定供給事業助成金	農業関連組織で構成する生産振興のための団体が、代表チームによる先進事例の視察を行い、その結果をメンバーに情報提供と提言を行うことにより、全体のレベルアップを進めるための取り組み。 今回は、行政による各種補助金を有効活用している事例の視察。 加速している農業の国際化の中での農業経営の在り方や、消費者に目を向けた食と農の関係、輸入農産物との差別化に関する視点などについて学ぶため、海外での農業研修を体験した農業経営者のグループが外部から講師を招いて開催する講演会の事業。
	流通 (ビジネスモデルの作成、イベントの実施)	生産者の思いを伝える農業推進事業	碧海地区の各種農業関係団体が共同して開催する消費者との交流イベントにおいて、農業者が自ら実施する各種食農体験（野菜サラダ作り、バター作りなど）や地元農産物とその加工品の試食会、農業講座、食農講演など、消費者とその子供を対象として地域の農業者の思いを伝えていく取組。 農業団体が開催するイベントにおいて、愛知県産農畜産物の即売会（売り上げは社会福祉団体に寄付）や、愛知の農業紹介のためのパネルの作成展示、「あいちブランド」をPRするパンフレットや粗品の来場者への配布によって、日ごろの愛知県産農畜産物のご愛顧に感謝しつつ、さらに「あいちブランド」を普及させるための事業。 新しく開発され、消費者になじみの薄い野菜「プチヴェール」を広く普及、PRするために、その生産者の部会が実施する生食や加工品の試食イベントなどの事業。
			部会で生産するミニトマトをソースに加工し、地元の学校給食に無償提供することにより、知名度の向上と消費拡大を目指す取り組み。提供日に合わせて児童・生徒に商品説明を行うほか、圃場に招待するなど生産者の思いを伝え、将来的には県下全体の学校給食への普及を目指す。

平成25年度に交付決定した助成事業（第4回申請分）

事業名	助成金の種類	事業の内容等
農業環境整備事業	農業理解促進事業助成金	管内の農業漁業体験や直売所、自然景観、伝統文化等のMAPなどを紹介する情報を掲載した広報誌を作成、配布することにより、消費者に管内農業についての理解を深めていただくための、地方公共団体が実施する取組。ただし助成対象は農業に関する部分のみ。
		愛知県の今月の花紹介ポスターを作成し、県内の生花店等に配布することにより、県内で生産される花の認知度向上と消費の拡大を図るための取組。
		愛知県農業をPRするためのパンフレットを作成し、イベント来場者等に配布することによって本県農業に対する理解を深めていただくとする取組。
	後継者育成活動助成金	概ね40歳以下の青年農業者が、県外で先進的な取り組みを行っている生産者や加工業者、流通業者等での視察研修を行うことにより、自らの農業生産に役立てようとする取組。
農業生産振興事業	安全良質農産物安定供給事業助成金	農業生産者の会合において、外部講師を招いた講演会を開催し、他産業から見た農業に対する意見、評価を聞くことにより今後の生産活動に役立てていこうとする取組。
		近年、愛知県産米の評価に影響している高温障害等について、研究機関との連携によりその対策マニュアルを作成し、指導員・普及員を通じて愛知県産米の品質向上をめざす取組。
	新農業ビジネスモデル推進事業助成金	管内産のお茶及び牛肉を原料とする新規商品の開発のための取組。
	生産者の思いを伝える農業推進事業助成金	各種の農畜産物に関する展示会・展覧会に出展し、実演・体験のコーナーを設けたり、管内産の農畜産物をPRし、消費拡大を図ろうとするための取組。
いわゆる『物日』としての「夫婦の日」の普及定着を図り、ギフト用の花の消費拡大を目指す取組。		
管内産の下記の消費宣伝のための横断幕の作成し、各種イベント会場に掲示することにより認知度向上と消費拡大を目指す取組。		
		様々な作目の生産者のグループが消費者との交流イベントを開催し、それぞれの作目のこだわりを紹介したり、これらを材料とした食事メニューを提供することにより、認知度の向上と消費拡大を目指す取組。